



鎌田だより

第10号

江戸川区立鎌田小学校 令和6年1月31日

困難を乗り越え、できるようになることの楽しさと喜び

校長 石渡 靖



2日は節分、3日が立春と暦の上では春本番を迎えますが、まだまだ続く寒さの中、2月を迎えました。

1月は全ての学級を訪問し、1時間の授業を見てきました。共通していたことは、どの教室でもチャイム着席し、定刻に授業が始まり、子供たちが気持ちを切り替えて学習に臨んでいたことです。手を挙げて発言し、正しい言葉遣いで自分の考えを述べる子供たちからは、これまでの成長を感じました。見られているという緊張感も多少あったかもしれませんが、この先も大切にしなければならぬ学習に臨む大切な姿勢です。

さて、1月25日から27日までの2泊3日間、新潟県妙高市へ5年生のウインタースクールの引率で出掛けてまいりました。寒波による大雪の影響やインフルエンザ感染の流行など、出発前には心配事が重なりましたが、全行程をほぼ予定通り実施することができました。行きは都内での思わぬ渋滞で、宿舍到着が予定より大幅に遅れるアクシデントがあり、雪遊びの時間が短くなるなど変更がありましたが、子供たちは落ち着いて対応していました。

5年生にとっては初めての宿泊行事です。何より大切なことは、一人一人が約束や決まりを守り、友達と協力して生活することです。子供たちはしおりをよく読み、互いに助け合いながら協力して生活することができました。

メインの活動であるスキーは初めて経験する子も多く、長い板を履いた不安定な状態で、転んで痛い思いをしたり、雪がブーツやグローブの中に入り冷たい思いをしたり、転んでも思うように立ち上がれず、友達や先生に手助けしてもらったりした子もたくさんいました。しかし、失敗しても何度も何度もあきらめずに練習することでスキーができるようになり、そのことが楽しさや喜びにつながることを改めて実感したことと思います。

今回のウインタースクールでは、残念ながら欠席してしまった子や発熱のため、途中で帰京せざるを得なかった子もいます。帰校式では、その子たちの思いもしっかりと受け止め、残り約2か月、皆と一緒に5年生としての生活をしっかりとまとめてほしいこと、4月からは鎌田小学校の最上級生として、学校全体を引っ張って行ってほしいことを話しました。